

**パイナップル葉繊維を利用した  
SDGsプロジェクト「KISEKI LABEL」 始動！  
～アパレル製品及び生分解性ストローの試作・製造を開始しました～**

株式会社フードリボン（沖縄県国頭郡大宜味村。以下「フードリボン」という。）は、台湾政府管轄の台湾産業用紡織品協會/Taiwan Technical Textiles Association(以下「台湾紡績協会」という。)の協力の下で、両地域の特産品であるパイナップルの葉を使用した SDGs プロジェクト「KISEKI LABEL」(以下「本プロジェクト」という。)を開始いたしました。

**【本プロジェクトの概要】**

本プロジェクトは、従前大量に廃棄されていたパイナップルの葉から繊維を抽出し、当該繊維を利用して衣類等のアパレル製品及び生分解性樹脂と配合したストロー等の製造・販売を行うプロジェクトです。

今後、本プロジェクトは、「KISEKI LABEL」のブランドマークの下で、フードリボン及び台湾紡績協会との間で強力な協力体制を構築し、量産販売に向けて事業を推進させていきます。

**【本プロジェクトの詳細】**

**パイナップル葉繊維及びアパレル製品の製造**

日本では年間約 8000トンのパイナップルが生産されているところ、その 95%以上は沖縄県で生産されています。また、台湾では年間約 60 万トンもの量が生産されており、両地域においてパイナップルは特産品となっています。

パイナップルは、その果実が収穫された後、多くの葉が残りますが、台湾及び沖縄県では、この葉は利用されることなく廃棄されていました。そこでフードリボンは、廃棄されていたパイナップルの葉を利用すべく、台湾紡績協会に対し繊維の抽出方法等について相談し試作を行ってきました。その結果、パイナップルの葉から繊維を量産する方法について目途が立ちましたので、今後は当該繊維の量産、生地の販売及び当該繊維を利用したアパレル製品の製造販売に向けて事業を推進していきます。



写真左:パイナップル畑の状況（果実収穫後に残る葉が繊維の原料となります。）

写真中央:パイナップルの葉繊維

写真右:パイナップル葉繊維で作ったウェディングドレス

## 生分解性ストロー等の製造

アパレル製品に使用することができる繊維は、パイナップルの葉からとれる繊維量の約1%程度であり、その残渣は繊維くず等のためアパレル製品としては使用することができません。

フードリボンでは、パイナップルの葉の更なる有効活用を行うべく、当該残渣の活用方法について研究を行ってきましたが、今般、台湾工業研究院(ITRI)とフードリボンの取締役でもある同志社大学の藤井名誉教授を中心とした先端複合材料研究センターの共同研究により、パイナップルの葉の残渣からCNF(セルロースナノファイバー)を取り出すことに成功しました。

CNF(セルロースナノファイバー)は、人体にも、環境にも優しい製品として様々な分野で注目を集めており、石油由来プラスチックの代替品として注目されている生分解性プラスチックに配合することにより、強度UPなどの機能性を向上させることができます。

フードリボンでは、当該残渣から取り出したCNF(セルロースナノファイバー)を、生分解性プラスチックと配合し、ストロー等の生分解性プラスチック製品を製造・販売していきます。

## 本プロジェクトに対する思い

フードリボンの本店がある沖縄県大宜味村を含む北部3村には、世界自然遺産候補地である「やんばるの森」が存在していますが、この森は「奇跡の森」とも呼ばれています。本プロジェクトは、この「奇跡の森」に因んで命名したもので、現在までの永きに渡りその姿を残している「奇跡の森」と同様、本プロジェクトについても、将来にわたり長く永続する、持続可能なプロジェクトとして実施したいという思いを込めています。

本プロジェクトは、パイナップル葉繊維からアパレル製品を製造することを目的にスタートしましたが、アパレル産業については、化学繊維を含む衣服の洗濯等によって発生するマイクロプラスチックが海洋汚染を引き起こしたり、綿花栽培によって大量の水が消費されるという課題を抱えています。私たちは、パイナップル葉繊維を広く使用していただくことで、これらの社会的課題の解決に繋がるものと確信しており、また、これらの社会的課題の解決を図ることにより持続可能な社会の実現に貢献していきたいと考えております。

このような考えに基づいて、今般、台湾紡績協会、フードリボンは、「KISEKI LABEL」のマークの下で持続可能な社会の実現に向けて本プロジェクトを実施していくことといたしました。

また、本プロジェクトは、フードリボンが所在する沖縄県大宜味村についても賛同していただいております。今後、フードリボン及び台湾紡績協会は、一層協力関係を強固なものとし、「KISEKI LABEL」のマークの下に本プロジェクトの推進に取り組んでいきます

## 会社概要

株式会社フードリボン FOOD REBORN(本社:沖縄県国頭郡大宜味村字饒波 2216 番地 1)は社会・地域課題を解決するため、様々な企業との協力の下で未利用素材等を利用したプロジェクトを推進させ、持続可能な社会及び事業の実現を目指す会社です。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社フードリボン TEL: 098-917-1830 / FAX: 098-963-8024

HP: <https://food-reborn.co.jp/> MAIL: [info@food-reborn.co.jp](mailto:info@food-reborn.co.jp)